

詐欺かよ

え、これってまさか……

「オレオレ詐欺」「架空請求詐欺」などの特殊詐欺や、「SNS型投資・ロマンス詐欺」の被害が増加しています。愛媛県警察では2月6～13日の間に、特殊詐欺に関する相談が99件寄せられたと発表し、注意を呼びかけています。

被害者の多くは「自分が被害に遭うとは思っていなかった」と答えています。詐欺の手法はますます多様化・巧妙化しています。電話やメール、インターネットなどさまざまな手段で、私たちの心の隙をついて近付いてきます。自分や家族が被害に遭わないために、まずは「詐欺は自分にもやってくる」と考えておかなければいけません。詐欺が近付いてきたときどう対処すればいいか。自分の身を「守る力」について考えます。

特集

詐欺から身を守る力

守る力

その一

詐欺に「入り込まませない」

全年代で広がる詐欺被害

令和7年の県内の特殊詐欺被害の認知件数は168件、被害総額は6億円を超えるなど増加傾向が続いています。「認知」とは警察署で被害届を受理したもので、これは「氷山の一角」。実際の被害はさらに多く発生しています。特殊詐欺というと、高齢者を狙った「オレオレ詐欺」を想像するかもしれませんが。しかし昨年は、被害が最も多かった年代は20〜30代で、全体の3割近くを占めます。年齢や性別を問わず、詐欺被害は広がっています。

犯人はあらゆる手段で私たちの心理をつき、弱みに付け込みます。「自分は騙されない」と思っている人こそ、実は危険なのです。

国際電話のブロックが有効

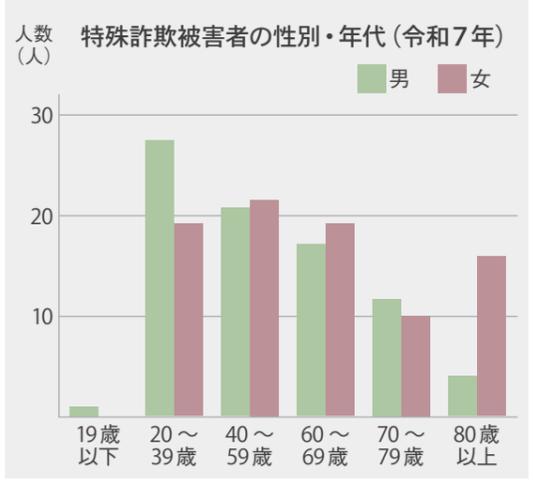
電話による詐欺には、「+」「18」「010」などから始まる番号の国際電話が多く使われています。「外国人からかかって来たことはない」と思いかもしれませんが、詐欺の電話の多くは自動音声から始まります。アナウンスに従って何気なく応じてしまうと犯人の

「標的リスト」入りです。詐欺グループにつながり、さまざまな個人情報聞き出されて、また別の詐欺にも利用されてしまうのです。不要な国際電話をブロックすれば、被害はかなり減らせると考えています。固定電話の場合、国際電話の発信信を無償で休止することができます。番号が表示されない固定電話だと、国際電話かどうか判別できないので、かからないようにするのが一番です。携帯電話の場合は専用のアプリなどを利用することで、国際電話をブロックできます。ぜひご検討ください。

はつきりと断ち切る

犯人の手口は日々アップデートされ、巧妙化しています。例えば、配送業者をかたって「お客様の荷物に事故が起きたので、至急ご連絡ください」とメッセージが届くケース。つい連絡してしまいそうですが、身に覚えのないものを安易に信用してはいけません。また「不用品を買い取る」と言って自宅に上がり込み、貴重品などを盗み取る事例もあります。一度、犯人に入り込まれると断るのが難しくなります。断り切れない人の良さも内子の良さ——ですが、詐欺に対しては入り込ませず、はつきり「いりません」と断ち切りましょう。少しでも「怪しい」「おかしい」と思ったら、すぐに警察へご連絡ください。犯行は町内の他の人にも及ぶ可能性が高いです。「こんな電話があったよ、気を付けようね」と共有して、皆さんで詐欺を寄せ付けまいちにしていきましょう。

(右) 県内での特殊詐欺被害は近年、急激に増加している。数字は被害届を提出されたもののみ。届け出をしていないものを含めると被害はさらに多くなる。また「被害に遭っていることに気付いていない」ケースも多い。
(左) 特殊詐欺の被害は高齢者に多いと思われがちだが、年代や性別を問わず発生している。
(資料提供:大洲警察署)



さまざまな手口が存在する特殊詐欺。一つ目の「守る力」は、自分たちの元へ「入ってくる前に防ぐ」ことです。大洲警察署内子交番の富田優一(ゆういち)所長に、近年の詐欺被害の現状と、必要な心構えについて聞きました。

県内の事例①
自動音声から警察官を名乗る男へ……

【概要】警察官へのなりすまし
【被害者】20歳代男性
【内容】見覚えのない番号から電話がかかり、出ると自動音声が出る。指示に沿って番号を押すと、県外の警察署の職員を名乗る男につながる。「あなたの口座に詐欺の被害金が入り込まれている」「あなたに共犯の容疑がかけられており、これから電話で取り調べをする」と説明される。その後、SNSのビデオ通話に誘導され、警察手帳のようなものを見せられ「資金調査をすれば身の潔白が証明される」などと言われる。続いて検事を名乗る男からも連絡があり「金融庁の職員が紙幣の識別番号を確認するので、現金を振り込んで」と指示され、指定された口座に送金してしまった。被害額159万円。

《対策》
不要な国際電話はブロックして

わざと遠方の警察署の名前を出し、「出頭できないなら電話で取調べをする」などと言ってきます。警察が電話で取調べをすることは絶対にありません。電話でお金の話になったら詐欺を疑い、すぐに通報しましょう。

不要な国際電話はかからないようにするのが一番です。ブロックする手続を警察署がサポートしますので、気軽にお問い合わせください。
○大洲警察署 内子交番
☎0893(43)0110

事例の紹介動画もあります

愛媛県警察は公式YouTubeチャンネルで、詐欺の事例などを動画で紹介しています。実際にかかってきた電話の会話や自動音声の内容が分かるので、よりイメージが湧くと思います。ぜひ視聴してみてください。

地域の集会などでもお話しします。ぜひ呼んでください!



守る力 その二

詐欺を「抱え込まない」

「相談させない」が手口

身に覚えのない請求メール、SNSで紹介された投資話——など、詐欺は電話以外にも、さまざまな手段で広がっています。全てをシャットアウトすることは難しく、知らないうちに私たちのすぐそばに、詐欺は忍び寄っています。

犯人はあらゆる手を使い、ターゲットに「他人に相談させない」ように仕向けます。例えば、個人情報保護をちらつかせる、異性になりすまして甘い言葉でやり取りをするなどして、人には話しづらい状況をつくるのです。また相談者には「どこへ相談していいかわからない」「こんなことで相談して迷惑ではないか」という人もいます。さまざまな理由で「相談できない」ことが、被害を見えづらくさせてしまいます。

問題の解決に必要な「伴走者」

相談を受けていて、特に高齢者や障がい者には「伴走者」が必要だと感じます。問題の解決に向けた対策はあっても、スマホの操作

が苦手だったり、本人だけでは対処できない場合も多いです。そんなときこそ抱え込まず、誰かを頼ってください。身近に相談できる人がいれば、たとえその人が解決できなくても、解決してくれる他の人につながることもあります。問題はみんなの力で対処することが大切です。問題をはみなの力で対処するのなら「自分が解決しなきゃ」と抱え込まず、行政などの支援につないであげてください。

相談をためらわないで

人には「失敗を隠したい」という気持ちがあります。詐欺に引っかかったと分かった後、「忘れてしまいたい」と、犯人とのやり取りの履歴や申込時のメールなどを全て消してしまう人もいます。これらの詐欺の証拠がなくなってしまうと、周りが解決に向けて動くことが難しくなります。

詐欺は「思い込み」から始まります。そこにある嘘に自分だけで気付くのは難しくても、誰か相談できる人がいれば、そこから解決に向けて動いていきます。家族や友人、行政など「この人になら安心して話せる」という相談先を、できればいくつか持つておいてください。誰でも自分の弱さを見せるのは嫌ですが、見せなければ弱さであることにさえ気付かせません。消費生活相談窓口では、商品の購入やサービスの契約など、消費生活のトラブルに関するさまざまな相談を受け付けています。私たちは皆さんに必要な支援につながる「窓口」です。空振りをおそれず、困ったときはいつでも相談してください。



内子町消費生活相談窓口
相談員 城戸 久美さん



内子町消費生活相談窓口では、詐欺被害をはじめとする消費者トラブルから身を守るための啓発・情報提供を行っています。対象者の年齢や目的に合わせた啓発パンフレットなども用意しています。《出張学習会について》消費生活相談員が地域団体や高齢者サロン、老人会などの集まりに出張して、トラブルの対処法などをお伝えします。詳細はお問い合わせください。

詐欺の被害を防ぐために必要な「守る力」の二つ目は、自分だけで問題を抱え込まないこと。消費生活相談窓口の城戸久美さんは、「問題に気づき、いかに相談につなげるかが重要」と話します。

県内の事例② SNSで見つけた「必ずもうかる投資」

【概要】SNS型投資詐欺
【被害者】60歳代男性
【内容】

SNSを利用中「将来のための資産運用」「優良株で必ずもうかる」などと書かれた広告が表示された。タップすると投資の先生のアシスタントを名乗る人物とつながり、投資学習グループへと招待される。グループ内では「先生に紹介された優良株で大もうけした」「アドバイスに従って投資すれば、必ず利益が出る」などの投稿が並んでいる。被害者は紹介された株を購入するため指定された口座に送金したところ、サイト上で数万円の利益が出たかのように表示された。これを信用した被害者は、アシスタントから「追加資金が必要」などと言われ、さらに送金を重ねてしまう。被害額約1350万円。

《対策》 信頼できる相談先に、すぐ相談を

利益が出たように見せ、少額のうちは払い戻しに応じるなどして信用させ、より多額の金をだまし取る手口です。「必ずもうかる」などという、うまい話は絶対にありません。即決せず、信頼できる人に相談しましょう。

消費生活相談窓口へ寄せられた情報などの秘密は厳守します。自分だけで抱え込まず、まずはご相談ください。
○内子町消費生活相談窓口
☎0893(44)5026

相談内容の秘密を守り、適切な専門機関におつなぎします！



町公式LINEで配信中

消費生活トラブルに関するさまざまな情報を、内子町の公式LINEで定期的に配信しています。実際に町内で多く寄せられている相談事例と対応策を知り、被害を防ぎましょう。下のQRコードからぜひご登録ください。



内子町公式LINEの登録はこちら▶